

放射性セシウム濃度を抑制して高品質自給飼料を生産

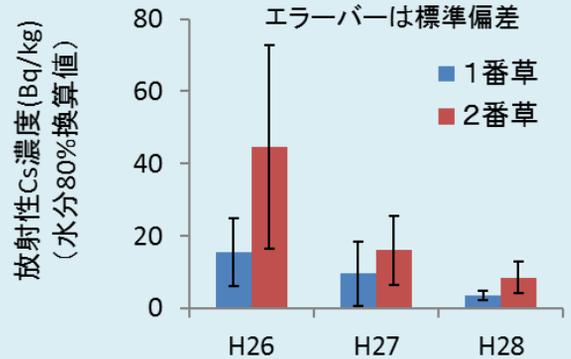
技術の概要



適切な耕起、施肥、堆肥散布、
収穫作業法による牧草の生産



高能率な作業機等を用いた
飼料用トウモロコシの生産



○H28年度までの3年間で、搾乳牛給与基準30Bq/kgを超過しなくなりました。

○ 転作後の3年間で飼料用トウモロコシの乾物収量目標15t/haを達成し、現地生産法人への技術移転を進めています。

期待される効果

- ・ 放射性セシウム濃度が低く栄養価の高い高品質な自給飼料を生産できます。
- ・ 約180千円／(頭・年)相当の輸入乾草を自給飼料に置き換え、78千円／(頭・年)の飼料費を節減できます。

【お問い合わせ先】

農研機構 畜産研究部門 企画連携室 広報プランナー

電話：029-838-8292 URL:<https://www.naro.affrc.go.jp/inquiry/index.html>